

## 【OIE 情報】中国（新疆ウイグル自治区）における口蹄疫（0 型）の発生について

中国（新疆ウイグル自治区）における口蹄疫（0 型）の発生について、2016 年 11 月 30 日付けで OIE へ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト（2016年11月30日付け）

[http://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=21691](http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=21691)

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

### 【概要】

- ・発生数：1 件（緊急報告）
- ・発生日：2016 年 11 月 22 日
- ・OIE への報告日：2016 年 11 月 30 日
- ・血清型：0 型

### 【発生状況】

- ・発生場所：新疆ウイグル自治区 クズルス・キルギス自治州の裏庭農場

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	22	22	0	22	0

### 【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中

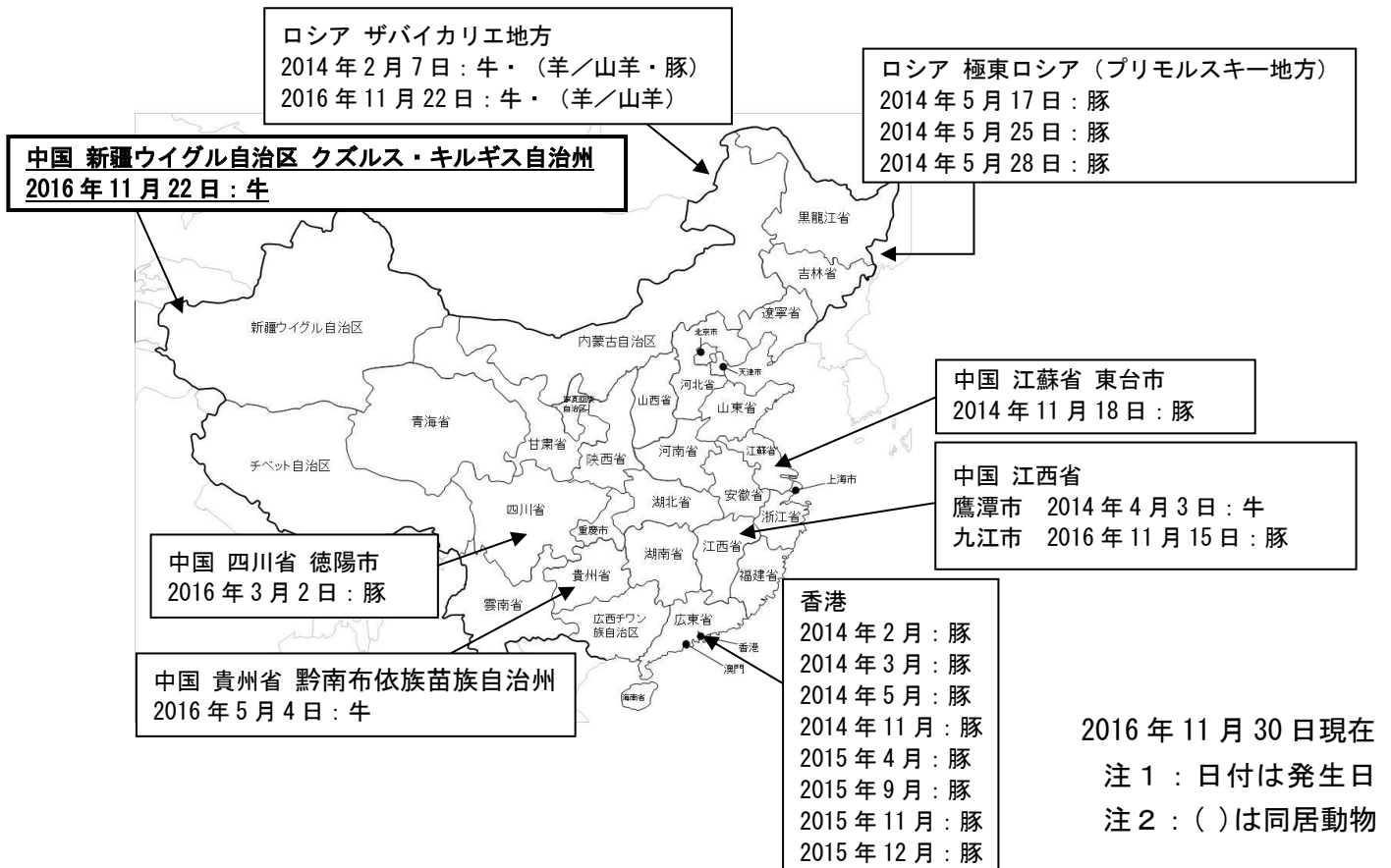
### 【対応】

- ・スクリーニング
- ・発生に応じたワクチン接種を実施
- ・施設等の消毒
- ・トレーサビリティ
- ・隔離
- ・淘汰
- ・動物製品の公的廃棄
- ・死体、副産物及び廃棄物の公的処分
- ・封じ込め及び/または保護区域の内側におけるサーベイランス
- ・ゾーニング
- ・患畜を治療対象としない

### 【診断】

- ・診断施設：蘭州獣医学研究所（国立研究所、OIEリファレンスラボラトリー）
- ・診断法：RT-PCR、ウイルス分離（いずれも陽性）
- ・確認日：2016年11月28日

【参考情報】中国、ロシア（極東ロシア、ザバイカリエ地方）、香港における0型口蹄疫の発生状況（2014年1月～）



（参考1）中国での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

全ての豚、牛、羊、ラクダ及び鹿が0型口蹄疫ワクチンの強制接種対象となっている。

（参考2）ロシア（極東ロシア）での0型口蹄疫に関する情報

- ・ OIE 報告によると、ロシア プリモルスキー地方の口蹄疫発生場所は、それぞれ中国国境から 30km 及び 45km に位置し、プリモルスキー地方は口蹄疫ワクチン接種を行う緩衝地域に指定されている。
- ・ 国境地帯に口蹄疫の緩衝地域を設定し、牛及び小型反芻動物に対して、A、O 及び Asia-1 型の混合ワクチンを接種している（ロシア連邦動植物検疫監督局ウェブサイト情報より）。

（参考3）香港での0型口蹄疫ワクチン接種に関する情報

- ・ 全ての種豚及び 12 週齢以上の豚に対し、4 か月ごとに 0 型口蹄疫ワクチン接種を実施。

（参考情報：口蹄疫に関する中国農業部の対応関連情報）  
当省ウェブサイト以下に以下の情報を掲載しています。

- ・ 中国の家畜の伝染病に対するワクチン接種計画について（仮訳）  
URL: [http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/k\\_fmd/pdf/china\\_vaccine.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/china_vaccine.pdf)
- ・ 中国の動物伝染病モニタリング・疫学調査計画（仮訳）  
URL: [http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/k\\_fmd/pdf/china\\_survey.pdf](http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/pdf/china_survey.pdf)